

注3

大学番号：私034

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

作新学院大学 経営学部 スポーツマネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 船田教育会
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムカチョウ 総務課長 オノヤマ 小野山 ヨシヒロ 佳広

電話番号 028-667-7111

（夜間） 028-670-3600

F A X 028-667-7110

e-mail soum@sakushin-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経営学部

<スポーツマネジメント学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 船田教育会

(2) 大学名

作新学院大学

(3) 大学の位置

〒321-3295

栃木県宇都宮市竹下町字下東原908番地の4

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フナダ ハジメ) 船田 元 (平成13年3月22日)		
学長	(オオタ イタル) 太田 周 (平成25年4月1日)		
学部長	(オオタ タダシ) 太田 正 (平成25年4月1日)		
学科長等	(チヨウ ヨンギル) 趙 鏞吉 (平成26年4月1日)	(コヤマ サナエ) 小山 さなえ (平成27年4月1日)	学科長の変更(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経営学部 スポーツマネジメント学科 学士(経営学)	4年	60人	—人	240人	既設の経営学部経営学科を学生募集停止し、経営学部スポーツマネジメント学科を設置。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成 年度		平成 年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	60人 (—) [—]	—人 (—) [—]	60人 (—) [—]	—人 (—) [—]	1.37倍	—倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	75 (—) [—]	0 (—) [0]	103 (—) [—]	0 (—) [0]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	74 (—) [—]	0 (—) [0]	103 (—) [—]	0 (—) [0]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	74 (—) [—]	0 (—) [0]	102 (—) [—]	0 (—) [0]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	71 (—) [—]	0 (—) [0]	94 (—) [—]	0 (—) [0]			
入学定員超過率 B/A	—		—		1.18		1.56				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成 年度		平成 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 71	[-] (-) —	[-] (-) 92	[-] (-) —	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[-] (-) 65	[-] (-) —	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 71	[-] (-) 157			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<経営学部 スポーツマネジメント学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教育初期科目	基礎ゼミナール1	1前	2			5 +	1 2		2 +		兼13 兼6 担当者変更 (27)
	基礎ゼミナール2	1後	2			4 5 +	0 +	2 +	2 1		兼13 兼6 担当者変更 (27)
英語コミュニケーション	英語A1(文法・語彙)	1前	1								兼7 兼5
	英語A2(文法・語彙)	1後	1								兼7 兼5
	英語A3(英文購読)	2前	1								兼7 兼6 担当者変更 (27)
	英語A4(英文購読)	2後	1								兼7 兼6 担当者変更 (27)
	英語B1(コミュニケーション)	1・2前	1								兼3 兼5
	英語B2(コミュニケーション)	1・2後	1								兼3 兼5
	英語B3(コミュニケーション)	2・3・4前		1							兼3 兼4 担当者変更 (27)
英語B4(コミュニケーション)	2・3・4後		1							兼3 兼4 担当者変更 (27)	
リテラシー教育科目	日本語A1	1前	(1)								兼1
	日本語A2	1後	(1)								兼1
	日本語A3	2前	(1)								兼1
	日本語A4	2後	(1)								兼1
日本語表現科目	日本語B1	1前	(1)								兼1
	日本語B2	1後	(1)								兼1
	日本語B3	2前	(1)								兼1
	日本語B4	2後	(1)								兼1
情報リテラシー	日本語表現法1	1前	2								兼3
	日本語表現法2	1後		2							兼3
健康	コンピュータリテラシー1	1前	2								兼4 兼5
	コンピュータリテラシー2	1後		2							兼4
スポーツと健康	スポーツ科学実技A1	1前	1			+	+		1		兼1 職位の変更(27)
	スポーツ科学実技A2	1後	1			2 +	1 +		1		兼1 職位の変更(27)
	スポーツ科学実技B	1・2前		1		2 +	1 +				兼1 担当者変更 (27)
	スポーツ科学実技C	1・2後		1		+	+		1		兼1 職位の変更(27)
キャリア	キャリアデザイン1	1後	2								兼2 兼1
	キャリアデザイン2	2前 3前	2								配当年次の変更により非開講(27)
	インターンシップA	2前・後	2			5 1	1		2		兼13 兼15 担当者変更 (27)
	インターンシップB	3前・後		2		5 1	1		2 1		兼13 兼15 担当者変更 (27)
教養教育科目	哲学	1・2前		2							兼1
	心理学	1・2前		2							兼1
	歴史学	1・2前		2							兼1
	文学	1・2後		2							兼1
	デザイン論	1・2後		2							兼1
	憲法入門	1・2後		2							兼1
	マスコミ論	1・2後		2							兼1
	数学	1・2前		2							兼1
	統計学1	1・2前		2							兼1
	統計学2	1・2後		2							兼1
科学・技術論	環境論	1・2後		2							兼1
	情報と社会	1・2前		2		1					兼1
	科学・技術論	1・2前		2							兼1

共通教育科目	教養教育科目	教養系	ジェンダー論	1・2後	2							兼+	担当者の退職により開講せず。 今年度中に後任決定。(26)	
			健康・スポーツ概論1	1・2前	2				1				兼1	
		現代社会の諸問題A	1・2前	2									兼1	
		現代社会の諸問題B	1・2後	2									兼1	
		現代社会の諸問題C	1・2後	2									兼1	隔年開講により開講せず(26)
		とちぎ学	1・2後	2									兼3	
													兼1	オムニバスの変更により担当者減員 (27)
		日本事情A	1・2前	2									兼1	
		日本事情B	1・2後	2									兼1	
		言語系	初級ドイツ語1	1前	2									兼1
	初級ドイツ語2		1後	2									兼1	
	中級ドイツ語1		2・3・4前	1									兼1	
	中級ドイツ語2		2・3・4後	1									兼1	
	初級フランス語1		1前	2									兼1	
	初級フランス語2		1後	2									兼1	
	中級フランス語1		2・3・4前	1									兼1	
	中級フランス語2		2・3・4後	1									兼1	
	初級中国語1		1前	2									兼+	
	初級中国語2		1後	2									兼2	担当者退職による担当者減員 (27)
	自主科目	自主科目A	1・2・3・4	2									兼+	
自主科目B		1・2・3・4	2									兼+		
自主科目C		1・2・3・4	2									兼+		
海外研修		1・2・3・4後	2									兼4	隔年開講により開講せず(26)	
		1・2・3・4後	2									兼1		
		1・2・3・4後	2									兼1		
		1・2・3・4後	2									兼1	隔年開講により開講せず(26)	
		1・2・3・4後	2									兼1		
		1・2・3・4後	2									兼1		
		1・2・3・4後	2									兼1	担当者の都合により開講せず(27)	
専門教育科目	学部共通科目	経営学総論A	1前	2								兼1		
		経営学総論B	1後	2								兼1		
		経済学総論	1後	2								兼1		
		会計学総論	1前	2								兼2		
		フィールドワークA	1前	2					5	+		2	兼13	
									2	2	1	1	兼6	
									0	0				担当者変更 (27)
		経営管理論A	2前	2									兼1	
		現代企業論A	2前	2									兼1	
		公共経営論A	2前	2									兼1	
		経営実践講座	2後	2					+				兼1	担当者変更 (27)
		フィールドワークB	2前	2					2			+	兼9	※実習
		経営戦略論	2後	2							1		兼1	担当者変更 (27)
													兼2	
													兼1	担当者退職による担当者減員 (27)
													兼2	担当者退職による担当者減員 (27)
		ヒューマンリソース・マネジメントA	2前	2									兼1	
		ベンチャー起業論	2後	2									兼1	
		グローバル経営論	2後	2									兼1	
		財務諸表論A	2前	2									兼+	
											兼2	担当者変更 (27)		
金融論	2前	2									兼1			
経営情報論A	2前	2									兼1			
情報の収集と活用	2後	2									兼1			
地域経営論	2前	2									兼1			
まちづくり論	2前	2									兼+			
											兼1	担当者変更 (27)		
生涯スポーツ論	1後	2									兼+			
栃木県の企業	2後	2									兼+	※実習		
											兼2	担当者退職による変更 (27)		
アグリビジネス論	2後	2									兼1			
プロジェクトマネジメント基礎	2前	2									兼+			
											兼2	担当者変更 (27)		

	企業と法A	2前		2								兼1	
	企業と法B	2後		2								兼1	
	統計処理入門	2後		2								兼2	
	ビジネスイングリッシュA	2前		2								兼1	担当者の減員 (27)
	ビジネスイングリッシュB	2後		2								兼1	担当者の追加 (27)
	職業指導A	2前		2								兼1	担当者の追加 (27)
	職業指導B	2後		2								兼1	
スポーツマネジメント科目	スポーツマネジメント論	2前	2			1	+					兼1	職位の変更(27)
	スポーツと社会科学	2前	2				+		1			兼1	担当者変更 (27)
	スポーツ政策論	2後	2			1			1			兼1	担当者変更 (27)
	スポーツマーケティング論	2前		2								兼1	担当者変更 (27)
	スポーツ産業論	2前		2		+	+		1			兼1	職位変更による(27)
	スポーツビジネス論	2後		2					1	1		兼1	職位変更による(27)
	スポーツ組織論	2後		2		1	1					兼1	
	スポーツサービス論	2前		2								兼1	
	スポーツ施設管理論	3前		2					1			兼1	
	スポーツと地域社会	3前		2		1						兼1	
	スポーツツーリズム	3後		2		1						兼1	
	スポーツ心理学	2前		2		1						兼1	
	発育発達論	2前		2					1			兼1	担当者変更 (27)
ネジボメットマ	スポーツマネジメント演習A	2後		2		1							
	スポーツマネジメント演習B	3前		2					1				
	スポーツビジネスコーチング論A	2後		2					1			兼1	担当者変更 (27)
	スポーツビジネスコーチング論B	3前		2					1			兼1	担当者変更 (27)
研究ゼミナール	研究ゼミナール1	2前	2			5	+			2			
	研究ゼミナール2	2後	2			5	+			2			
	研究ゼミナール3	3前	2			5	1			2			
	研究ゼミナール4	3後	2			5	1			2			
	研究ゼミナール5	4前	2			5	1			2			
	研究ゼミナール6	4後	2			5	1			2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
41	91	0	135	41	94	0	135	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ジェンダー論	2	1~2	一般	選択	担当者退職。後任未定
2	現代社会の諸問題C	2	1~2	一般	選択	A B C間での隔年開講
3	海外研修A	2	1~4	一般	選択	A B C D間での隔年開講
4	海外研修D	2	1~4	一般	選択	A B C D間での隔年開講
5	キャリアデザイン2	2	2	一般	必修	配当年次変更に伴う非開講
6	英語C2	1	2~4	一般	選択	担当者の都合

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」
 教員の担当科目数や実施準備等の都合から、非開講となった科目がある。また、隔年開講の開講予定により、一時的に非開講の科目もある。適切な履修年次での開講に努め、学生の履修意欲を損なうことの無いよう注意したい。隔年開講については、その周期を狭めてより多くの履修機会を設けるよう努力する。

「学生への周知方法」
 新入生オリエンテーション時の履修指導の時間に教務係職員及び教務委員の教員により開講できない理由や次年度の処置を説明し、次年度の履修に支障が生じないように配慮した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	作新学院大学女子短期 大学部と共有		
	校 舎 敷 地	— m ²	32,269m ²	4,007m ²	36,276m ²			
	運 動 場 用 地	— m ²	30,409m ²	3,698m ²	34,107m ²			
	小 計	— m ²	62,678m ²	7,705m ²	70,383m ²			
	そ の 他	— m ²	30,486m ²	3,787m ²	34,273m ²			
	合 計	— m ²	93,164m ²	11,492m ²	104,656m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	作新学院大学女子短期 大学部と共有			
	4,767m ² (4,767m ²)	16,417m ² (16,417m ²)	5,471m ² (5,471m ²)	26,655m ² (26,655m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(語学学習施設は作学院 大学女子短期大学部と共 有) センターの新設、運動部 部室の整備のため(27)		
	39 42室	31室	2室	1室 (補助職員 3 人)	1室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	経営学部	スポーツマネジメント学科	8 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書館は作新学 院大学女子短期大学部 と共有 電子ジャーナルは作新 学院大学女子短期大学 部と共有
	経営学部	4,000 [400] (1,326 [132]) -(1,000 [100])	215 [20] (283 [19]) -(215 [20])	5,265 [5,200] (4,449 [4,382]) -(5,265 [5,200])	40 (35) -(10)	6,830 (168)	0 (0)	
	計	4,000 [400] (1,326 [132]) -(1,000 [100])	215 [20] (283 [19]) -(215 [20])	5,265 [5,200] (4,449 [4,382]) -(5,265 [5,200])	40 (35) -(10)	6,830 (168)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,064m ²		321席		32万冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,777m ²		野 球 場 1 面		テ ニ ス コ ー ト 3 面			
			陸上競技場兼サッカー場1面		—			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,500千円	9,788千円 9,500千円	9,500千円
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	10,500千円	10,500千円	10,500千円
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,240千円	940千円	940千円	940千円	— 千	— 千	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	作新学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
大学院経営学研究科 博士後期課程	3年	3人	— 年次人	9人	博士 (経営学)	0.44倍	平成7年度	栃木県宇都宮市 竹下町字下東原 908番地の4	
博士前期課程	2	20	—	40	修士 (経営学)	1.2	平成5年度	同上	
大学院心理学研究科 臨床心理学専攻 (修士課程)	2	15	—	30	修士 (臨床心理学)	0.96	平成18年度	同上	
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成元年度	同上	平成22年度より 学生募集停止
経営学部経営学科	4	—	—	—	学士 (経営学)	—	平成22年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
経営学部									
経営学科	4	120	—	480	学士 (経営学)	0.7	平成26年度	同上	
スポーツマネジメント学科	4	60	—	240	学士 (経営学)	1.37	平成26年度	同上	
総合政策学部 総合政策学科	4	—	—	—	学士 (総合政策学)	—	平成17年度	同上	平成22年度より 学生募集停止
人間文化学部 人間文化学科	4	120	—	480	学士 (人間文化学)	0.68	平成14年度	同上	
大学の名称	作新学院大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
幼児教育科	2年	130人	— 年次人	260人	短期大学士 (幼児教育)	1.05倍	昭和42年度	栃木県宇都宮市 竹下町字下東原 908番地の4	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 スポーツマネジメント学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目	
専	教授	アブラカワ ヒロシ 油川 洋 (69)	(平成26年4月)	スポーツツーリズム 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専 兼任	教授 講師	アブラカワ ヒロシ 油川 洋 (69)	(平成26年4月)	スポーツツーリズム 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
専	教授	ナカオ ヒサシ 中尾 久 (69)	(平成26年4月)	栃木県の企業 スポーツ産業論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専 兼任	教授 教授	ナカオ ヒサシ 中尾 久 (69)	(平成26年4月)	スポーツ産業論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6 ニューツーリズムマネジメント	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 平成27年3月中尾久教授退職による辞任。 他に担当者いるため支障なし(27) 平成27年3月中尾久教授退職のため担当者変更(27)
専	教授	フクダ マサシ 福田 将史 (55)	(平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 健康・スポーツ概論1 生涯スポーツ論 スポーツ心理学 スポーツマネジメント演習A 自主科目A 自主科目B 自主科目C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専	教授	フクダ マサシ 福田 将史 (55)	(平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C スポーツ科学実技C 健康・スポーツ概論1 生涯スポーツ論 スポーツ心理学 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)

							スポーツマネジメント演習A	担当者の変更(27)	
				専	教授	ヒグチ ヨシヒデ 樋口 善英 (41)	スポーツマネジメント演習A (平成27年4月)		
							自主科目A 自主科目B 自主科目C	担当者の変更(27) 担当者の変更(27) 担当者の変更(27)	
				兼担	教授	ナスノ キミト 那須野 公人 (61)	自主科目A 自主科目B 自主科目C (平成26年4月)		
専	教授	チョウ ヨンギル 趙 鎬吉 (54)	(平成26年4月)	専	教授	チョウ ヨンギル 趙 鎬吉 (54)	(平成26年4月)	情報と社会 スポーツ政策論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
専	准教授	カサハラ アキラ 笠原 彰 (45)	(平成26年4月)	専	准教授	カサハラ アキラ 笠原 彰 (45)	(平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技B 発育発達論 スポーツビジネスコーチング論A スポーツビジネスコーチング論B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
				専	助教	ソウマ サトシ 相馬 聡 (36)	(平成26年4月)	スポーツ科学実技B	担当者の変更(27)
専	准教授	コヤマ サナエ 小山 さなえ (45)	(平成26年4月)	専	准教授 教授	コヤマ サナエ 小山 さなえ (45)	(平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C スポーツマネジメント論 スポーツと社会科学 スポーツ産業論 スポーツ組織論 スポーツ施設管理論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5	担当者の変更(27) 担当者の変更(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)

			研究ゼミナール6			研究ゼミナール6 スポーツと社会科学 スポーツ産業論	担当者の変更(27) 担当者の変更(27)
				専 講師	スズキ ミサト 鈴木 美沙都 (31) (平成27年4月)	スポーツと社会科学 スポーツ産業論	
専	講師	セキネ マサトシ 関根 正敏 (31) (平成27年4月)	スポーツビジネス論 スポーツマネジメント演習B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専 講師	セキネ マサトシ 関根 正敏 (31) (平成27年4月) (平成26年4月)	スポーツビジネス論 スポーツマネジメント演習B 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	※就任年月平成26年4月に変更 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
専	助教	ソウマ サトシ 相馬 聡 (35) (平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6	専 助教	ソウマ サトシ 相馬 聡 (35) (平成26年4月)	スポーツ科学実技A1 スポーツ科学実技A2 スポーツ科学実技C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 研究ゼミナール3 研究ゼミナール4 研究ゼミナール5 研究ゼミナール6 スポーツ科学実技B	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 担当者変更による追加(27)
兼任	教授 (副学長)	ヤハギ ツネオ 矢作 恒雄 (72) (平成26年4月)	経営戦略論	兼任 教授 (副学長)	ヤハギ ツネオ 矢作 恒雄 (72) (平成26年4月)	経営戦略論	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼任	教授	ハンダテ タツオ 橋立 達夫口 (67) (高) (平成26年4月)	まちづくり論 アグリビジネス論 プロジェクトマネジメント基礎 スポーツと地域社会 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークB	兼任 教授	ハンダテ タツオ 橋立 達夫口 (67) (高) (平成26年4月)	まちづくり論 プロジェクトマネジメント基礎 スポーツと地域社会 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA アグリビジネス論	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 担当者変更(27)
				兼任 講師	ヒトミ ヒロシ 人見 浩 (54) (平成27年4月)	アグリビジネス論	
兼任	教授	シノハラ カズトシ 篠原 一壽 (65) (高) (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA	兼任 教授	シノハラ カズトシ 篠原 一壽 (65) (高) (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 平成27年3月退職による辞任。 他に担当教員がいるため支障なし。
兼任	教授	タカハシ ハジメ 高橋 元 (65) (高) (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA	兼任 教授	タカハシ ハジメ 高橋 元 (65) (高) (平成26年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 フィールドワークA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 平成27年3月退職による辞任。 他に担当教員がいるため支障なし。
兼任	教授	アオヤマ ヒデオ 青山 秀雄	ヒューマンリソース・マネジメントA 基礎ゼミナール1	兼任 教授	アオヤマ ヒデオ 青山 秀雄	基礎ゼミナール1	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26)

		(63) (高)	基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA (平成26年4月)			(63) (高)	基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更(27)
				兼任	准教授	ヤマシタ ユウスケ 山下 裕介 (34) (平成27年4月)	ヒューマンリソース・マネジメントA	
兼任	教授	ヒダカ サダアキ 日高 定昭 (63) (高)	経営管理論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA (平成26年4月)	兼任	教授	ヒダカ サダアキ 日高 定昭 (63) (高)	経営管理論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA フィールドワークA 海外研修C (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者の変更により追加。(26)
兼任	教授	オオタ タダシ 太田 正 (62) (高)	キャリアデザイン1 地域経営論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA (平成26年4月)	兼任	教授	オオタ タダシ 太田 正 (62) (高)	キャリアデザイン1 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 地域経営論 (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更(27)
				兼任	講師	トヨタ アキラ 豊田 晃 (59) (平成27年4月)	地域経営論	
兼任	教授	カスガ マサオ 春日 正男 (67)	経営実践講座 栃木県の企業 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB (平成26年4月)	兼任	教授	カスガ マサオ 春日 正男 (67)	経営実践講座 栃木県の企業 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼任	教授	ホウキ リョウイチ 法貴 良一 (61)	公共経営論A 職業指導A 職業指導B 現代社会の諸問題C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 キャリアデザイン1 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA (平成26年4月)	兼任	教授	ホウキ リョウイチ 法貴 良一 (61)	公共経営論A 現代社会の諸問題C 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 キャリアデザイン1 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 職業指導A 職業指導B (平成26年4月)	隔年開講のため開講せず(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更(27) 担当者変更(27)
				兼任	講師	コバヤシ ヨシキ 小林 芳樹 (64) (平成27年4月)	職業指導A 職業指導B	
兼任	教授	ナスノ キミト 那須野 公人 (60)	経営学総論A 経営学総論B グローバル経営論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA (平成26年4月)	兼任	教授	ナスノ キミト 那須野 公人 (60)	経営学総論A 経営学総論B グローバル経営論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA 自主科目A 自主科目B 自主科目C 研究ゼミナール1 研究ゼミナール2 (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27)
兼任	教授	ヤマグチ アツエ 山口 厚江 (56)	経営戦略論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA (平成26年4月)	兼任	教授	ヤマグチ アツエ 山口 厚江 (56)	経営戦略論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA (平成26年4月)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)

			インターンシップB フィールドワークA				インターンシップB フィールドワークA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	准教授	タケイ コウスケ 武井 孝介 (40) (平成27年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼担 准教授 兼任 講師	タケイ コウスケ 武井 孝介 (40) (平成27年4月)	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	※平成27年度4月着任予定のため、 平成26年度は兼任講師として科目を担当(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	講師	ホソダ マサヒロ 細田 雅洋 (28) (平成26年4月)	会計学総論 財務諸表論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB	兼担 講師	ホソダ マサヒロ 細田 雅洋 (28) (平成26年4月)	会計学総論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB ビジネスイングリッシュA ビジネスイングリッシュB 財務諸表論A	会計学総論 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA フィールドワークB ビジネスイングリッシュA ビジネスイングリッシュB 財務諸表論A	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 担当者の追加(27) 担当者の追加(27) 担当者変更(27)
兼担	教授	ナカジマ ヒロユキ 中島 洋行 (37) (平成26年4月)	財務諸表論A	兼担 教授	ナカジマ ヒロユキ 中島 洋行 (37) (平成26年4月)	財務諸表論A	財務諸表論A	
兼担	助教	キシモト ナオコ 岸本 直子 (37) (平成28年4月)	マーケティング論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	兼担 助教 兼任 講師	キシモト ナオコ 岸本 直子 (37) 後任未定 (平成28年4月)	マーケティング論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	マーケティング論A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 インターンシップA インターンシップB フィールドワークA	教員の辞退による。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	教授	キムラ カツヒコ 木村 克彦 (54) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼担 教授	キムラ カツヒコ 木村 克彦 (54) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B 英語B1 英語B2	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B 英語B1 英語B2	隔年開講により非開講(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27)
兼担	教授	カトウ ノリアキ 加藤 憲明 (61) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼担 教授	カトウ ノリアキ 加藤 憲明 (61) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	隔年開講により非開講(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼担	教授	タカハタ テツオ 高畑 哲男 (60) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語E1 英語E2 海外研修A 海外研修B	兼担 教授	タカハタ テツオ 高畑 哲男 (60) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語E1 英語E2 海外研修A 海外研修B インターンシップA	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語E1 英語E2 海外研修A 海外研修B インターンシップA	隔年開講により非開講(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 担当者変更による追加(27)
兼担	教授	ハラダ アキコ 原田 明子 (53) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	兼担 教授	ハラダ アキコ 原田 明子 (53) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 海外研修A 海外研修B	隔年開講により非開講(26)
兼担	教授	アラキ ナオヒデ 荒木 直秀 (53) (平成26年4月)	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 情報の収集と活用	兼担 教授	アラキ ナオヒデ 荒木 直秀 (53) (平成26年4月)	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 情報の収集と活用 インターンシップA	コンピュータリテラシー1 コンピュータリテラシー2 情報の収集と活用 インターンシップA	担当者変更による追加(27)
兼担	教授	タナカ ケンタロウ 田中 見太郎	哲学 現代社会の諸問題A	兼担 教授	タナカ ケンタロウ 田中 見太郎	哲学 現代社会の諸問題A	哲学 現代社会の諸問題A	

		(63) (高) (平成26年4月)	日本事情A			(63) (高) (平成26年4月)	日本事情A 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	担当科目の追加による変更(26) 担当科目の追加による変更(26)
兼任	教授	ニシタニ ケンジ 西谷 健次 (49) (平成26年4月)	心理学	兼任	教授	ニシタニ ケンジ 西谷 健次 (49) (平成26年4月)	心理学	
兼任	教授	コバヤシ テエコ 小林 千枝子 (59) (平成26年4月)	とちぎ学	兼任	教授	コバヤシ テエコ 小林 千枝子 (59) (平成26年4月)	とちぎ学 インターンシップA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 担当者変更による追加(27)
兼任	教授	タマキ カナメ 玉城 要 (47) (平成26年4月)	とちぎ学 中級中国語1 中級中国語2	兼任	教授	タマキ カナメ 玉城 要 (47) (平成26年4月)	とちぎ学 中級中国語1 中級中国語2 初級中国語1 初級中国語2 インターンシップA	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 配当年次の変更により開講 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27)
兼任	教授	ニシムラ マサミ 西村 正身 (63) (高) (平成26年4月)	初級ドイツ語1 初級ドイツ語2 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2	兼任	教授	ニシムラ マサミ 西村 正身 (63) (高) (平成26年4月)	初級ドイツ語1 初級ドイツ語2 中級ドイツ語1 中級ドイツ語2	
兼任	教授	フジモト カズオ 藤本 一男 (59) (平成26年4月)	海外研修D	兼任	教授	フジモト カズオ 藤本 一男 (59) (平成26年4月)	海外研修D	隔年開講により非開講(26)
兼任	准教授	タカヤナギ ヒデシ 高柳 秀史 (49) (平成26年4月)	数学 統計学1 統計学2 日本事情B 統計処理入門	兼任	准教授 教授	タカヤナギ ヒデシ 高柳 秀史 (49) (平成26年4月)	数学 統計学1 統計学2 日本事情B 統計処理入門 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2	担当科目の追加による変更(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 担当科目の追加による変更(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼任	講師	ハラ タカコ 原 貴子 (34) (平成26年4月)	文学	兼任	講師	ハラ タカコ 原 貴子 (34) (平成26年4月)	文学 文学	担当者の都合により非開講(26) 今年度は開講(27)
兼任	講師	ナカヤマ ロクロウ 中山 緑朗口 (66) (平成26年4月)	日本語A1 日本語A2 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任	講師 教授	ナカヤマ ロクロウ 中山 緑朗口 (66) (平成26年4月)	日本語A1 日本語A2 日本語表現法1 日本語表現法2 日本語B3 日本語B4	担当者変更による追加(27) 担当者変更による追加(27)
兼任	講師	アカハネ カオル 赤羽 薫 (64) (平成26年4月)	デザイン論	兼任	講師	アカハネ カオル 赤羽 薫 (64) (平成26年4月)	デザイン論	
兼任	講師	ニシダ ナオキ 西田 直樹 (48) (平成26年4月)	歴史学 とちぎ学	兼任	講師	ニシダ ナオキ 西田 直樹 (48) (平成26年4月)	歴史学 とちぎ学	
兼任	講師	キクチ ヨリコ 菊池 順子 (64) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	兼任	講師	キクチ ヨリコ 菊池 順子 (64) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読) 英語B1(コミュニケーション) 英語B2(コミュニケーション) 英語B3(コミュニケーション) 英語B4(コミュニケーション)	
兼任	講師	ワタベ フミコ 渡部 文子 (46) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読)	兼任	講師	ワタベ フミコ 渡部 文子 (46) (平成26年4月)	英語A1(文法・語彙) 英語A2(文法・語彙) 英語A3(英文購読) 英語A4(英文購読)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(27)

			英語B1 (コミュニケーション) 英語B2 (コミュニケーション) 英語B3 (コミュニケーション) 英語B4 (コミュニケーション)			英語B1 (コミュニケーション) 英語B2 (コミュニケーション) 英語B3 (コミュニケーション) 英語B4 (コミュニケーション)		
兼任	講師	アンザイ カオル 安齋 薫 □ (38) (平成26年4月)	英語A1 (文法・語彙) 英語A2 (文法・語彙) 英語A3 (英文購読) 英語A4 (英文購読)	兼任	講師	アンザイ カオル 安齋 薫 □ (38) (平成26年4月)	英語A1 (文法・語彙) 英語A2 (文法・語彙) 英語A3 (英文購読) 英語A4 (英文購読)	今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26) 今年度は担当せず。他に担当教員がいるため支障なし(26)
兼任	講師	クイン マシュー Matthew Quinn (33) (平成26年4月)	英語B1 (コミュニケーション) 英語B2 (コミュニケーション) 英語B3 (コミュニケーション) 英語B4 (コミュニケーション) 英語D1 英語D2	兼任	講師 兼任	クイン マシュー Matthew Quinn (33) (平成26年4月)	英語B1 (コミュニケーション) 英語B2 (コミュニケーション) 英語B3 (コミュニケーション) 英語B4 (コミュニケーション) 英語D1 英語D2	担当者変更(27)
				兼任	講師	スミス クリス Chris Smith (35) (平成27年4月)	英語D2	
兼任	講師	スギヤマ ハルノブ 杉山 晴信 (56) (平成26年4月)	英語C1 英語C2	兼任	講師	スギヤマ ハルノブ 杉山 晴信 (56) (平成26年4月)	英語C1 英語C2	担当者都合により今年度のみ非開講(27)
兼任	講師	カトウ ケンジ 加藤 健司 (62) (平成26年4月)	日本語A3 日本語A4 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任	講師	カトウ ケンジ 加藤 健司 (62) (平成26年4月)	日本語A3 日本語A4 日本語表現法1 日本語表現法2	
兼任	講師	イイダ ハルミ 飯田 晴巳 (67) (平成26年4月)	日本語B1 日本語B2 日本語B3 日本語B4 日本語表現法1 日本語表現法2	兼任	講師	イイダ ハルミ 飯田 晴巳 (67) (平成26年4月)	日本語B1 日本語B2 日本語表現法1 日本語表現法2	担当者変更(27) 担当者変更(27)
				兼任	講師 兼任 教授	ナカヤマ ロクロウ 中山 緑朗口 (67) (平成26年4月)	日本語B3 日本語B4	
兼任	講師	ミツイ ヒデキ 三井 英紀 (34) (平成26年4月)	憲法入門	兼任	講師	ミツイ ヒデキ 三井 英紀 (34) (平成26年4月)	憲法入門	
兼任	講師	オオサワ カズトシ 大澤 和敏 (37) (平成26年4月)	環境論	兼任	講師 専 教授	オオタ イタル 太田 周 (75) (平成26年4月)	環境論	担当者の都合により、今年度のみ担当者の変更
兼任	講師	シブヤ カズオ 渋谷 一夫 (60) (平成26年4月)	科学・技術論	兼任	講師	シブヤ カズオ 渋谷 一夫 (60) (平成26年4月)	科学・技術論	
兼任	講師	コバヤシ ヒロヒコ 小林 博彦 (76) (平成26年4月)	ジェンダー論	兼任	講師	後任未定 (平成26年4月)	ジェンダー論	平成26年3月小林博彦講師退職のため、担当者の変更。 平成26年度非開講、今年度中に担当者決定。
兼任	講師	トヨシマ ノリオ 豊島 典雄 (67) (平成26年4月)	マスコミ論 現代社会の諸問題B	兼任	講師	トヨシマ ノリオ 豊島 典雄 (67) (平成26年4月)	マスコミ論 現代社会の諸問題B	
兼任	講師	サトウ ジュンイチ 佐藤 淳一 (47) (平成26年4月)	初級フランス語1 初級フランス語2 中級フランス語1 中級フランス語2	兼任	講師	サトウ ジュンイチ 佐藤 淳一 (47) (平成26年4月)	初級フランス語1 初級フランス語2 中級フランス語1 中級フランス語2	
兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (66) (平成26年4月)	初級中国語1 初級中国語2	兼任	講師	シミズ ヒロコ 清水 浩子 (66) (平成26年4月)	初級中国語1 初級中国語2	退職に伴い担当者変更(27) 退職に伴い担当者変更(27)
						タマキ カナメ (平成26年4月)	初級中国語1	

					兼任 教授	玉城 要 (48)	(平成26年4月)	初級中国語2	
兼任	講師	ソン ミヨン 宋 美妍 (50)	(平成26年4月)	初級韓国語 1 初級韓国語 2 中級韓国語 1 中級韓国語 2	兼任 講師	ソン ミヨン 宋 美妍 (50)	(平成26年4月)	初級韓国語 1 初級韓国語 2 中級韓国語 1 中級韓国語 2	
兼任	講師	オノザト マユミ 小野里 真弓 (38)	(平成26年4月)	スポーツマーケティング論 スポーツサービス論	兼任 講師	オノザト マユミ 小野里 真弓 (38)	(平成26年4月)	スポーツマーケティング論 スポーツサービス論	

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 スポーツマネジメント学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	1	1	8	4	1	2	1	8	65	0	65	2
(4)	(2)	(1)	(1)	(8)	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	油川 洋	退職のため（ただし兼任教員として引き続き担当する）（27）
2	教授	中尾 久	退職のため（27）
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

専任教員の退職等により、担当教員を変更した科目がある。これらは可能な限り他の専任教員での開講を目指したが、一部兼任講師での開講となった科目もある。

また、兼任講師の交代があるが、他の適切な教員が担当するなどして、開講機会とその内容を維持する努力を行った。

「学生への周知方法」

新入生のオリエンテーション時の履修指導の際に、教務課職員及び教務委員の教員により、担当者及び非開講科目の説明を行い、履修に支障のないよう指導した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成26年度年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年度年2月)	経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	平成26年度に実施した学部改組及び定年退職に伴う教員人事により、経営学部所属専任教員の平均年齢は、56.76歳(平成25年度)から54.67歳(平成26年度)へと2歳強の若返りが図られたものの、定年退職年齢(65歳)を超える教員数(7人)に変化は見られなかった。これは、20歳代1名及び30歳代2名の若手教員を新規採用する一方、当面する授業科目担当者として特任による再雇用を図らざるを得ない事情等によるものであるが、中長期の人事計画にもとづき、このことを必要最小限にとどめたことが平均年齢の若返りに反映されており一定の改善は図られている。	平成27年度以降については、中長期の人事計画をPDCAサイクルによって学年進行させながら、教員組織編成の更なる適正化を進めていく予定である。すでに、平成27年度には4名の中堅・若手の教員の新規採用を予定しており、これにより平均年齢は51.14歳となる見込みである。また、定年退職年齢(65歳)を超える教員数も5名(前年比2名減)となり、60歳以上の比率は48%(平成25年度)から28.57%(平成27年度)へと大幅に低下する見込みである。更に、平成30年度には定年退職年齢(65歳)を超える教員数は2名となり、60歳以上の比率も22.72%としていくとともに、平均年齢では49.29歳となって50歳を切る水準としていくことを計画している。
設置計画履行状況 調 査 時		改善意見	平成24年度から、人間文化学科を発達教育専攻と人間文化専攻の2専攻体制として、発達教育専攻では、小学校教諭1種免許状と特別支援学校教諭1種免許状の両免許取得が可能であり、人間文化専攻では、中学校・高等学校教諭(国語、英語)1種免許状の免許取得可能である。教員養成教育の充実発展のために、平成26年度より元国立大学学部長を人間文化学部長に迎え、また県総合教育センター専門員を採用し、特に教員養成カリキュラム委員会の組織体制の見直しと教職実践センター(平成24年度新設)の機能強化に努めている。前者では、主に小学校教職学生指導部会と中・高校教職学生指導部会の設置や、教員養成像、教職AP、CP、DP、履修モデルなどを作成した。後者では教職実践演習、教育実習の指導、教員採用試験対策セミナーの開設等の実践的な教師教育について外部・内部講師を招聘して講座を実施し、またセンター主催の研究会、シンポジウムを開催し、教育委員会、学校現場との交流・連携を	人間文化学部では、平成20年度から学生定員を120名とし、平成24年度には人間文化学科を人間文化専攻と発達教育専攻の2専攻に分けて教育研究をスタートさせた。その間、さまざまな改革を行ってきたが、定員充足率の回復には至っていない。その現状を踏まえ、今後、人間文化学部の入学定員120名を20名削減するとともに、定員充足率が低い経営学科の入学定員120名を15名削減し、入学希望者が年次的に増加傾向にあるスポーツマネジメント学科の入学定員を35名増員することにより高校生の志望に応える。その際、大学設置基準に定める必要教員数の抑制を考慮し、平成28年度に向けて以下の学部・学科入学定員の変更を文部科学省に届け出る。 また、人間文化専攻は「心理」「社会」「言語文化」「教育」という視点から多角的に「人間」を探求し、現代の人間・文化・社会が抱える諸問題の解決に取り組む人材を養成することを目的としているが、依然として何を学べるのか、学んで何が得られるのか、

<p>(平成27年度年2月)</p>	<p>既設学部等(人間文化学部人間文化学科)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>深めるとともに、高校生や地域の学校関係者、保護者等に本学の教員養成教育の良さをアピールし学生確保につなげる努力をしている。</p> <p>入試制度改革としては、県内の進学校を指定校として、将来学校教員を目指す成績優秀者を学業特待生として受け入れることとしている。さらに、高校訪問と広報活動については、学部長及び関連教員、入試広報課職員が高校訪問を行い、高校生、進路指導担当教諭等に本学・学部・学科・専攻の特徴について丁寧に説明し、質問に応え、本学の学びの良さを広報し、学生確保に努めている。本年度は、定員充足率の回復を実現するまでには至っていないものの、学部の志願者が増加し、入学者も昨年度より増加の見込みである。県内だけではなく県外の進学校からの志願者増の傾向が見られ、今後に期待が持てる結果となった。(27)</p>	<p>明確性にかけるという指摘があり、人間文化専攻を心理コミュニケーション専攻(仮称)として再編し学生確保を図る。なお、本学大学院には心理学研究科(修士課程)・臨床心理学専攻が設置されており、心理学を専門とする教員スタッフが充実しており、学部・大学院学生の教育研究指導に携わるというメリットがある。この改革において人間文化専攻に所属する「社会」「言語文化」等のスタッフは、心理コミュニケーションの教育を担当するほか、教員養成教育の免許状取得に必要な各教科教育科目の担当者として、また本学共通教育科目の担当者として十分な役割を果たすことが期待される。</p> <p>教員養成教育については、教職実践センターと教員養成カリキュラム委員会を一層機能強化し、教職をめざす学生には履修モデルを明示し1年次からボランティアや研究会への参加を促しながら動機付けをはかり、教職実践演習、教育実習、教員採用試験対策などへの積極的指導を行う。県立高校校長を本学教員として採用し各種教員免許・資格取得に向けての指導体制を強化することを高校生、高校進路指導教諭をはじめ社会に広報し、教師を目指す学生の確保に努める。以上の取組を、高校生、社会に広く公報し、学生確保に注力する。</p> <p>対応完了予定時期:平成27年度末(27)</p>
--------------------	---	---	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 スポーツマネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部ESD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 別紙1のとおり</p> <p>c 委員会の審議事項等 別紙1のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 別紙1のとおり</p> <p>b 実施方法 別紙1のとおり</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 別紙1のとおり</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 別紙1のとおり</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 別紙1のとおり</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等 別紙1のとおり</p>

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年7月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関（日本高等教育評価機構）にて評価を受け、認定された。

・平成27年度に評価機関（日本高等教育評価機構）にて評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成 27 年 6 月 1 日)